

本事業の目的



Kumamoto University

問題意識：小学校における女子児童の理科への興味は男子児童とほとんど差がない

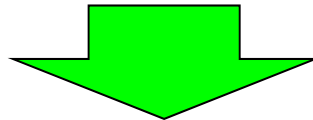
⇒ 大学理工系学部入学者における女子学生の少なさ、学科における偏り

⇒ 科学技術系の女性研究者の割合が著しく低い

要因1：進路決定における**情報不足**

要因2：大学進学後の**研究者**としての進路

要因3：**九州**における取組の必要性



目的：九州の女子中高生に自然科学および生命科学を研究する面白さを体験させて、理系を身近な学門領域として興味を喚起するとともに、保護者ならびに中学と高校の教諭に女性研究者に関する情報を提供しつつ疑問に応え、理系進路選択者および女性研究者を志望する女子中高生を増やすことを目的としています。